



平成28年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年6月9日

上場会社名 ミライアル株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4238 URL http://www.miraial.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山脇 秀夫
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 兵部 匡俊 TEL 03 (3986) 3782
 四半期報告書提出予定日 平成27年6月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年1月期第1四半期の連結業績（平成27年2月1日～平成27年4月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年1月期第1四半期	2,384	4.2	267	42.2	342	35.0	189	△9.1
27年1月期第1四半期	2,289	14.4	188	14.2	253	41.6	208	86.6

(注) 包括利益 28年1月期第1四半期 213百万円 (8.8%) 27年1月期第1四半期 196百万円 (71.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年1月期第1四半期	21.11	—
27年1月期第1四半期	23.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年1月期第1四半期	18,649	15,569	83.5	1,732.24
27年1月期	18,864	15,446	81.9	1,718.46

(参考) 自己資本 28年1月期第1四半期 15,569百万円 27年1月期 15,446百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年1月期	—	10.00	—	10.00	20.00
28年1月期	—	—	—	—	—
28年1月期(予想)	—	10.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 現時点において平成28年1月期の1株当たり期末配当金については未定であります。

3. 平成28年1月期の連結業績予想（平成27年2月1日～平成28年1月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,500	△6.2	410	△23.8	510	△25.8	310	△38.0	34.48
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 通期の業績予想について、現時点では合理的な予想を行うことが困難であることから、未定といたしました。なお、通期業績予想は合理的な予想が可能となった時点で速やかに開示いたします。詳細は、添付資料2ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は添付資料3ページの「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年1月期1Q	10,120,000株	27年1月期	10,120,000株
② 期末自己株式数	28年1月期1Q	1,131,804株	27年1月期	1,131,756株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年1月期1Q	8,988,227株	27年1月期1Q	8,988,244株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続きは終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおりま
す。実際の業績等は、業況の変化により、予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結損益計算書関係	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善や原油価格下落の影響等により、緩やかな回復基調にて推移しました。世界経済に関しては、緩やかに景気回復しているものの、弱含みで推移している欧州経済、新興国経済の景気下振れ懸念等により先行きには不透明感があります。

このような経営環境の中、当社グループ主力のプラスチック成形事業における主要販売先である半導体業界は、前期回復した需要が引き続き活況であり、シリコンウエハの出荷は好調に推移しております。一方で、当社グループの主力製品である300mmシリコンウエハ出荷容器FOSBは、リユースの増加という構造的な背景から、需要は弱含みで推移しました。

この結果、当第1四半期累計期間の売上高は2,384百万円(前年同期比4.2%増)、営業利益は267百万円(前年同期比42.2%増)、経常利益は342百万円(前年同期比35.0%増)、四半期純利益は189百万円(前年同期比9.1%減)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(プラスチック成形事業)

当事業の主力製品である300mmシリコンウエハ出荷容器FOSBは、リユース率の上昇に加え、一時的なリユース回収の集中もあり、新品需要は後退したものの、5月の連休による前倒し出荷、工程内容容器をはじめとした他の製品の売上増で、FOSB新品需要の後退をカバーし、売上を確保しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,073百万円(前年同期比1.4%増)、営業利益は352百万円(前年同期比13.6%増)となりました。

(成形機事業)

当事業の主力製品である成形機及び金型は、前期計上されていたグループ内の成形機及び金型の販売が減少したことから減収減益となりました。しかしながら、引き続き利益を確保できる付加価値の高い案件に選択と集中を行っており、一定の売上高と黒字を確保しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は325百万円(前年同期比12.4%減)、営業利益は44百万円(前年同期比30.1%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて288百万円減少し、12,472百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少446百万円があったものの、受取手形及び売掛金の増加152百万円があったこと等によるものであります。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べて73百万円増加し、6,176百万円となりました。これは主に、減価償却の進行をはじめとした有形固定資産の減少106百万円、保険積立金の減少66百万円があったものの、投資有価証券の増加276百万円があったこと等によるものであります。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて339百万円減少し、2,059百万円となりました。これは主に、未払法人税等の減少325百万円があったこと等によるものであります。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末に比べて0百万円増加し、1,020百万円となりました。これは主に、退職給付に係る負債の増加4百万円があったこと等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて123百万円増加し、15,569百万円となりました。これは主に、四半期純利益189百万円の計上、配当金の支払89百万円による減少があったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成28年1月期における第2四半期連結累計期間の業績につきましては、平成27年3月9日公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、第1四半期における利益は、上期業績予想を上回ってはおりますが、当社グループの主要販売先である半導体業界は事業環境の変動が激しく、今後の見通しについても「(1) 連結経営成績に関する定性的情報」に記載の通りであるため、変更はしていません。

また、通期の業績予想について、現時点では合理的な予想を行うことが困難であることから、未定としておりますが、合理的な予想が可能となった時点で速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成27年3月26日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成27年3月26日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

なお、この変更による期首の負債及び利益剰余金、ならびに営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,181,927	8,735,041
受取手形及び売掛金	2,625,180	2,777,579
商品及び製品	265,313	276,225
仕掛品	406,723	393,488
原材料及び貯蔵品	111,830	108,355
繰延税金資産	131,052	130,109
その他	38,971	51,250
流動資産合計	12,760,999	12,472,049
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,917,202	4,917,202
減価償却累計額及び減損損失累計額	△3,075,737	△3,106,870
建物及び構築物(純額)	1,841,464	1,810,331
機械装置及び運搬具	6,663,241	6,665,155
減価償却累計額及び減損損失累計額	△5,958,817	△6,003,658
機械装置及び運搬具(純額)	704,424	661,497
土地	1,328,189	1,328,189
その他	4,417,187	4,422,907
減価償却累計額及び減損損失累計額	△3,943,813	△3,982,224
その他(純額)	473,373	440,683
有形固定資産合計	4,347,452	4,240,701
無形固定資産		
その他	59,425	53,836
無形固定資産合計	59,425	53,836
投資その他の資産		
投資有価証券	578,359	855,357
保険積立金	831,436	765,034
繰延税金資産	234,031	208,831
その他	52,825	53,235
投資その他の資産合計	1,696,652	1,882,459
固定資産合計	6,103,530	6,176,996
資産合計	18,864,530	18,649,046

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年4月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,189,428	1,224,461
短期借入金	—	20,000
1年内返済予定の長期借入金	17,219	13,052
未払法人税等	417,731	92,252
賞与引当金	168,984	245,628
受注損失引当金	2,216	140
製品保証引当金	1,389	8,529
その他	601,628	455,009
流動負債合計	2,398,597	2,059,072
固定負債		
長期借入金	18,750	16,875
退職給付に係る負債	683,391	687,869
役員退職慰労未払金	131,780	131,780
繰延税金負債	82,423	84,223
その他	103,567	99,488
固定負債合計	1,019,912	1,020,236
負債合計	3,418,509	3,079,309
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,111,000	1,111,000
資本剰余金	1,310,000	1,310,000
利益剰余金	14,880,930	14,980,800
自己株式	△1,759,228	△1,759,298
株主資本合計	15,542,701	15,642,501
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	41,553	52,718
退職給付に係る調整累計額	△138,235	△125,482
その他の包括利益累計額合計	△96,681	△72,764
純資産合計	15,446,020	15,569,736
負債純資産合計	18,864,530	18,649,046

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年2月1日 至平成26年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年2月1日 至平成27年4月30日)
売上高	2,289,166	2,384,303
売上原価	1,668,770	1,705,859
売上総利益	620,395	678,444
販売費及び一般管理費	432,143	410,818
営業利益	188,252	267,626
営業外収益		
受取利息	2,378	2,312
受取配当金	20	87
保険返戻金	51,422	64,840
助成金収入	3,190	451
受取賃貸料	1,909	1,999
売電収入	11,203	10,306
その他	2,959	1,725
営業外収益合計	73,084	81,723
営業外費用		
支払利息	183	78
減価償却費	7,639	6,575
その他	76	550
営業外費用合計	7,898	7,203
経常利益	253,438	342,146
特別利益		
固定資産売却益	2,311	—
訴訟弁済金	61,002	—
特別利益合計	63,314	—
特別損失		
固定資産売却損	880	—
訴訟関連費用	6,334	—
雇用多様化費用	—	48,095
特別損失合計	7,215	48,095
税金等調整前四半期純利益	309,537	294,050
法人税、住民税及び事業税	163,936	89,452
法人税等調整額	△63,249	14,845
法人税等合計	100,686	104,298
少数株主損益調整前四半期純利益	208,850	189,752
四半期純利益	208,850	189,752

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年2月1日 至平成26年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年2月1日 至平成27年4月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	208,850	189,752
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12,507	11,164
退職給付に係る調整額	—	12,752
その他の包括利益合計	△12,507	23,916
四半期包括利益	196,343	213,669
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	196,343	213,669
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結損益計算書関係

雇用多様化費用

雇用多様化費用は、プラスチック成形事業における勤務体系の多様化と人材の確保のため新会社を設立し、雇用調整を行ったことにより発生した費用であり、その内訳は次のとおりであります。

転籍一時金	33,231千円
退職加算一時金	14,864千円

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年2月1日 至平成26年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	プラスチック成形事業	成形機事業	
売上高			
外部顧客への売上高	2,040,217	248,948	2,289,166
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,745	123,077	126,823
計	2,043,963	372,026	2,415,989
セグメント利益	310,109	63,940	374,049

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	374,049
セグメント間取引消去	△43,265
全社費用(注)	△142,531
四半期連結損益計算書の営業利益	188,252

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術試験費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年2月1日 至平成27年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	プラスチック成形事業	成形機事業	
売上高			
外部顧客への売上高	2,058,527	325,776	2,384,303
セグメント間の内部売上高 又は振替高	15,033	63	15,096
計	2,073,561	325,839	2,399,400
セグメント利益	352,387	44,668	397,056

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	397,056
セグメント間取引消去	4,822
全社費用(注)	△134,252
四半期連結損益計算書の営業利益	267,626

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術試験費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。